

「『未知への挑戦』とくしま行動計画」改善見直しシート（要改善評価抜粋）

	ターゲット	重点戦略	主要施策	ページ
1	1 「笑顔とくしま・県民活躍」の実装	3 人生100年時代！健康寿命延伸へ「フレイル対策」展開	2 アクティブシニアの活躍推進	1
2				
3				
4				
5	2 「強靱とくしま・安全安心」の実装	1 未知なる災害を迎え撃つ！「事前復興」推進	3 戦略的災害医療の展開	3
6			4 快適な避難環境の整備	4
7			5 平時・災害時両面での自然エネルギーの利活用	6
8		3 「命」と「健康」を守る！地域医療提供体制の充実強化	3 感染症対策の充実強化	8
9		4 みんなで守り育てる！「安全安心な地域づくり」の推進	2 ひとに寄り添い支える体制づくり	9
10				
11				

「『未知への挑戦』とくしま行動計画」改善見直しシート（要改善評価抜粋）

	ターゲット	重点戦略	主要施策	ページ
12	3 「発展とくしま・革新創造」実装	2 ニューノーマル対応！観光誘客の拡大 (R2：千載一遇！攻めのインバウンド誘客)	1 「おもてなしの国とくしま」観光誘客の推進	10
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20			2 「輝け！とくしま」観光コンテンツの充実	13
21				
22				
23				
24				
25			3 四季を通じたにぎわいの創出	16
26				
27				
28			4 ゲートウェイとくしまの加速	18
29				
30				
31	4 世界スタンダード！徳島未来教育の創造	1 グローバル人材の育成	19	
32				
33				
34	5 ポスト東京オリパラ！経済好循環へ	2 成長分野等における企業誘致の推進	20	
35				3 就労支援と職業能力開発の充実

「『未知への挑戦』とくしま行動計画」改善見直しシート（要改善評価抜粋）

	ターゲット	重点戦略	主要施策	ページ
36	4 「躍動とくしま・感動宝島」の実装	1 世界に誇る！「あわ文化」の創造と継承	1 あわ文化による「文化と経済の好循環」	23
37				
38				
39				
40				
41		2 「新たな文化」によるにぎわい創出	25	
42				
43				
44				
45		3 あわ文化創生プロジェクトの推進	26	
46				
47				
48		4 「世界遺産」登録への挑戦	27	
49				
50		2 世界へ飛躍！「スポーツ王国とくしま」新次元の進化	1 スポーツ振興によるにぎわいづくり	28
51			2 徳島アスリートの育成強化	30
52		3 目指すは世界標準！「スポーツレガシー」の創造と継承	1 スポーツ施設の世界標準化	32
53				
54		4 共生社会の実現！障がい者スポーツ・芸術文化の深化	1 障がい者スポーツ・芸術文化の振興	34
55				
56				
57	5 新次元！文化スポーツ施設「グレードアップ戦略」の展開	3 新次元文化スポーツ環境の創造	35	
58				

「『未知への挑戦』とくしま行動計画」改善見直しシート（要改善評価抜粋）

	ターゲット	重点戦略	主要施策	ページ
59	5 「循環とくしま・持続社会」の実装	2 新時代を先導！再生可能エネルギーの社会実装	1 「地産地消」推進プロジェクトの推進	36
60			5 近未来とくしま！「東京オリパラ」から「大阪・関西万博」へ	2 水素エネルギーの社会実装
61		1 夢と希望の新交通ネットワークの構築		39
62				
63				

番号	行動計画 該当箇所		(現 行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				実績		主要施策	(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直し等の理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	実績値 (R2)	達成率 (R2)			判定	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)		
73	1-3-2	94	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者自身が生きがいを持って豊かな高齢期を創造できるようにするため、シルバー大専校・大学院において、ニューノーマルに対応した講座を実施することにより、地域福祉を推進するリーダーを養成するとともに、新たに「アクティブシニア地域活動支援センター」を開設し、生きがいづくり及び活動の場づくりを支援します。＜未来＞ 	推進						C						令和2年度における生きがいづくり推進員が活動できない期間については、現場に出向くことが制約される中、オンラインによる教育現場への支援を行うとともに、推進員のレベルアップを図るためのリカレント講座(アクティブシニア地域活動支援センターにて実施)の開催回数を増やした。また、高齢者へ学びの機会を提供するため、今年度のシルバー大専校および同大学院では、基本的な感染対策はもとより、広い会場への変更など感染防止策を徹底した上で講座を開講している。さらに高齢者へ学びの機会を提供するため、ケーブルテレビを活用した「放送講座」や、Webを活用した講座の充実を図った。	未来
			○生きがいづくり推進員の活動延べ人数 (17) 2,084人→(22) 2,700人	2,000人	2,500人	2,600人	2,700人	766人	30%								
			○シルバー大専校大学院における資格取得者数 (累計) (17) 1,363人→(22) 1,800人	1,560人	1,660人	1,700人	1,800人	1,600人	96%								
			○シルバー大専校・大学院Web講座数(累計) (17) →(22) 40講座			35講座	40講座	-	-								
74	1-3-2	94	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者のスポーツ及び文化活動の推進を図るため、関係団体と連携し、県健康福祉祭等の開催や全国健康福祉祭、関西シニアマスターズ大会等への参加を推進します。＜未来＞ 	推進						C	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者のスポーツ及び文化活動の推進を図るため、関係団体と連携し、<u>ニューノーマルに対応した</u>県健康福祉祭等の開催や全国健康福祉祭、関西シニアマスターズ大会等への参加を推進します。＜未来＞ 					コロナ禍においても高齢者が健康で活躍できる社会を構築するため、全国健康福祉祭が中止、また県健康福祉祭についても一部中止となったものの、「とくしまアラート」が引き下げられたのちは、感染対策を講じた上で、競技団体と連携し、県健康福祉祭を実施した。引き続き、高齢者のスポーツ及び文化活動の推進を図る必要があるため、ニューノーマルへの対応を追加する。	未来
			○県健康福祉祭等の スポーツ及び文化交流大会等の参加者数 (17) 4,184人→(22) 5,000人	4,800人	4,870人	4,940人	5,000人	1,605人	32%								
75	1-3-2	94	<ul style="list-style-type: none"> 本県ゆかりの高齢者の移住を促進するため、地域の多世代の住民と交流しながら、健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができる「生涯活躍のまち」の推進に取り組みます。＜未来＞ 	推進													未来

ターゲット2 「強靱とくしま・安全安心」の実装

【重点戦略1】

未知なる災害を迎え撃つ！「事前復興」の推進

主要施策：4 快適な避難環境の整備			戦略会議評価														
			要改善														
番号	行動計画 該当箇所		工程(年度別事業計画)				実績		主要施策	(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直し等の理由及び概要	部局	
	位置 づけ	該当頁	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	実績値 (R2)	達成率 (R2)			判定	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)			2022 (R4)
189	2-1-4	120	(現行) 主要事業の概要・数値目標				●一定の地域をカバーする「拠点避難所」の指定を促進し、「拠点避難所」となる県立学校等の避難所機能の強化・充実を推進するとともに、県立学校体育館に「避難所施設となる体育館冷暖房設備モデル」を設置し、市町村への技術的支援に取り組みます。＜危機・教育＞	推進							令和2年度「モデル設置」の目標は未達成となったが、令和3年度には完了しているため、数値目標の見直し等はなしとした。	危機・教育	
			○避難所施設となる体育館トイレ洋式化率 ('17) 28%→('20) 100%	75%	100%				100%	100%							
			○避難所施設となる体育館への冷暖房設備モデル設置 ('20) モデル設置						モデル 設置中	0%							
190	2-1-4	120	●「大規模災害」と「新型コロナウイルス感染症」との複合災害に備えるため、サブ避難所の確保やホテル・旅館の活用等「分散避難」を推進するとともに、避難所の3密を回避するため、段ボールベッドやパーティション等の資機材を整備するなど、市町村と連携し、避難所における感染症対策を推進します。 また、災害時の「車避難(車中泊)」の在り方について検討し、「分散避難」につなげます。＜危機＞				推進								-	危機	
			○サブ避難所の確保に着手した市町村数 ('17) →('21) 19市町村			19 市町村		-	-								
			○「災害時の『車避難(車中泊)』対応方針(仮称)」の策定 ('21) 策定					-	-								
191	2-1-4	120	●生活の質を重視した避難所運営や多様な避難環境の創出を促進し、災害時における避難環境の向上を図ります。 ＜危機・県土＞				推進								B	危機・県土	
			○市町村における災害用トイレの備蓄率 ('17) →('20) 100%		100%			100%	100%								
			○県補助による快適トイレ導入基数(累計)(再掲) ('17) 95基→('20) 215基	165基	215基			215基	100%								
			○スフィア・プロジェクト [※] 研修の参加者数 ('17) 63人→('19) ~('22) 年間100人	100人	100人	100人	100人	42人	42%								

番号	行動計画 該当箇所		(現行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				実績		主要施策 判定	(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直し等の理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	実績値 (R2)	達成率 (R2)			2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
192	2-1-4	120	<ul style="list-style-type: none"> 大規模災害時に、高齢者や障がい者等の要配慮者が、安心して避難生活を送るため、市町村における福祉施設、宿泊施設、公共施設の「福祉避難所」への指定や円滑な運営体制の整備、感染症対策の強化を支援します。<保健・商工> 	推進						A							保健・商工
			○「福祉避難所」指定施設数 (17) 167施設→(22) 250施設	189施設	209施設	229施設	250施設	223施設	100%								
193	2-1-4	120	<ul style="list-style-type: none"> 地域の絆を深め、互いに支え合う地域共生社会の実現を図るため、平時は地域住民の交流拠点、災害時は要配慮者の福祉避難所としての機能を果たす「地域生活支援拠点」を整備します。(再掲)<保健> 	推進						A							保健
			○福祉避難所機能を有する「地域生活支援拠点」の施設数 (17) →(22) 3箇所		1施設	2施設	3施設	1施設	100%								
194	2-1-4	120	<ul style="list-style-type: none"> 大規模災害発生後、速やかな応急仮設住宅供給のため、用地の確保等、事前準備を推進します。<県土> 	推進													県土

ターゲット2 「強靱とくしま・安全安心」の実装

【重点戦略1】

未知なる災害を迎え撃つ！「事前復興」の推進

主要施策：5 平時・災害時両面での自然エネルギーの利活用			戦略会議評価																
			要改善																
番号	行動計画 該当箇所		(現 行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				実績		主要施策 判定	(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直し等の理由及び概要	部局		
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	実績値 (R2)	達成率 (R2)			2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)				
195	2-1-5	121	●「自然エネルギー立県とくしま推進戦略」に基づき、温室効果ガス排出削減や分散型エネルギーによる災害対策、地域の活性化等を目的として、「自然エネルギー」の導入を促進します。<危機> ○自然エネルギーによる電力自給率 (’17) 26.7%→(’22) 30.5%	推進							A								危機
				28.1%	28.9%	29.7%	30.5%	32.2%	100%										
196	2-1-5	121	●地域防災力の向上を目指し、災害時の切り札となる自然エネルギーを活用した「自立・分散型電源」導入支援制度を創設します。<危機> ○「自立・分散型電源」導入支援制度の創設 (’19) 創設 ○「自立・分散型電源」導入支援制度の取組支援数 (累計) (’17) → (’22) 15件	推進							-								危機
							10件	15件			-								
197	2-1-5	121	●地球温暖化対策や平時における電力の地産地消の推進、さらには災害時の非常電源として活用が期待できる水力発電の普及を図るため、溪流に設置可能なピコ水力発電機の実証実験や、産学官の連携等により、先導的モデルとなる小水力発電の導入支援に積極的に取り組みます。これらの取組みや実験データを公表することによって、自然エネルギーの普及促進を図ります。<企業> ○自立・分散型エネルギーの普及拡大 (’21)～(’22) 小水力発電の導入支援 ○自然エネルギー地産地消モデルの普及促進 (’19)～(’21) ピコ水力発電機の実証実験(2箇所)・ (’22) 説明会の実施 ○自然エネルギー導入促進のための技術支援 (’19)～(’22) 相談窓口による支援	推進							C								【前回の改善見直しにおいて対応済み】 令和3年度から、「市町村が事業主体となる小水力発電の導入支援」に見直し、事業化に向け、市町村と協働して取り組む。 企業
											-								
											実証実験	100%							
											支援	100%							

番号	行動計画 該当箇所		(現行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				実績		主要施策	(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直し等の理由及び概要	部局	
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	実績値 (R2)	達成率 (R2)			判定	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)			2022 (R4)
198	2-1-5	121	<ul style="list-style-type: none"> 水素社会の早期実現を目指し、「徳島県水素グリッド構想[*]」の具現化を図るため、「燃料電池自動車(FCV)」や「燃料電池バス」をはじめ多様な水素モビリティの導入を促進するなど、地球温暖化対策の切り札となる「水素エネルギー」の普及拡大を推進します。<危機> 	推進						C					燃料電池バスの燃料供給拠点である水素ステーションが、新型コロナウイルスによる主要機器サプライチェーンの乱れにより、完成が令和3年度にずれ込んだため。	危機		
			○「燃料電池バス」の本県導入('20) 導入					-	0%									
199	2-1-5	121	<ul style="list-style-type: none"> 次世代エコカー(EV、FCV、PHV[*]等)の優れた蓄電・発電機能が災害時の非常用電源として有効活用できることについて、広く県民の理解を深め、普及拡大に繋げるため、積極的な取組みの推進を図ります。<危機> 	推進						A					令和3年度の実績見込みが目標値を大きく上回ると推計されるため、成果・効果の更なる向上を目指し、エコカーを活用した給電に関する啓発活動実施数の目標数値について上方修正する。	危機		
			○イベントにおけるエコカーを活用した給電に関する啓発活動の実施数(累計)('17) 4件→('22) 30件	15件	20件	25件	30件	30件	100%		○イベントにおけるエコカーを活用した給電に関する啓発活動の実施数(累計)('17) 4件→('22) 40件	15件	20件	25件	40件			

ターゲット2 「強靱とくしま・安全安心」の実装

【重点戦略3】
「命」と「健康」を守る！地域医療提供体制の充実強化

主要施策：3 感染症対策の充実強化			戦略会議評価																
			要改善																
番号	行動計画 該当箇所		工程(年度別事業計画)				実績		主要施策 判定	(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直し等の理由及び概要	部局			
	位置 づけ	該当頁	(現行) 主要事業の概要・数値目標	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	実績値 (R2)			達成率 (R2)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)			2022 (R4)		
257	2-3-3	133	● 感染症の発生動向を早期かつ的確に把握、分析し、地域に情報発信することにより、感染症の発生及びまん延を防止します。＜保健＞ ○ 感染症情報発信のためのメーリングリスト登録数 (’17) 850箇所→(’22) 1,000箇所	推進					1,111 箇所	100%	A						保健		
258	2-3-3	133	● 新型インフルエンザ対策として、県民への迅速・的確な情報提供、診療体制の整備、抗インフルエンザ薬の確保、ワクチン接種対応等、年間を通じた対応を推進します。＜保健＞ ○ 新型インフルエンザ等感染症の対策訓練 (’17) 実施→(’19)～(’22) 毎年実施	推進							C	● 新型コロナウイルス感染症や新型インフルエンザ感染症をはじめとする新興・再興感染症に関し 、県民への迅速・的確な情報提供、診療体制の整備、抗インフルエンザ薬の確保、ワクチン接種対応等、年間を通じた対応を推進します。＜保健＞ ○ 新興・再興 感染症の対策訓練 (’17) 実施→(’19)～(’22) 毎年実施	推進					今般の新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、新型インフルエンザのみならず、今後、発生が危惧される「新興・再興感染症」に対しても、医療機関との連携のもと、幅広く対応できるよう、項目の見直しを行った。	保健
259	2-3-3	133	● 徳島県肝炎対策協議会で肝炎対策について協議し、総合的な肝炎対策を推進します。また、ウイルス性肝炎の早期発見・早期治療のため、検査・治療体制の充実を図るなど、肝炎対策を推進します。＜保健＞	推進														保健	
260	2-3-3	133	● 感染拡大防止を図るため、県民への迅速かつ的確な情報提供や、相談体制を充実させるとともに、検体採取機関の拡充や検査能力の強化を行うなど、新型コロナウイルス感染症対策を推進します。＜保健＞	推進														保健	

番号	行動計画 該当箇所		(現行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				実績		主要施策	(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局	
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	実績値 (R2)	達成率 (R2)			判定	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)			2022 (R4)
340	3-2-1	154	<ul style="list-style-type: none"> 「徳島」及び「にし阿波」の認知度向上と、欧米豪など外国人観光客の誘致促進のため、世界水準DMOの育成や圏内での周遊ルートづくり等に取り組むとともに、A Iやデジタルマーケティング※、オンラインやSNS等を活用し、ニューノーマルに対応した戦略的な情報発信を推進します。<西部> 	推進						C							<p>【前回の改善見直しにおいて対応済み】 前回の改善見直しにおいて、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光に対する社会的ニーズが変化しているため、「にし阿波」における外国人延べ宿泊者数(暦年)を廃止し、コロナ禍において、オンラインやSNS等を活用することにより、アフターコロナで外国人観光客を取り戻すため、「徳島にし阿波」の魅力効果を効果的に情報発信し、その情報が確実に届いた外国人数を新たな指標としている。 また、訪日旅行の再開時期が見通せない中、これまでの旅行会社との関係を継続するとともに、新規誘客開拓を図るため、リアルとオンラインのハイブリッド形式により、メディアや潜在旅行者に対し、「にし阿波」の魅力を効果的に発信する。</p>	西部
			○「にし阿波」における外国人延べ宿泊者数(暦年) (17) 28,824人→(20) 31,500人	30,000人	31,500人	—	—	3,633	11%									
			○BtoCの取組みとして、オンラインやSNS等を活用し、にし阿波の情報を発信した延べ外国人数 (17) →(22) 17,000人			15,000人	17,000人	—	—									
			○BtoBの取組みとして、アフターコロナを見据え、海外の旅行会社、メディア等へのリアルとオンラインを活用したプロモーション・商談会の開催 (17) →(22) 15回			15回	15回	—	—									
			○来訪者の満足度(7段階評価中最高評価の割合) (17) 20%→(22) 25%	22%	24%	25%	25%	39.5%	100%									
341	3-2-1	154	<ul style="list-style-type: none"> 外国人向けの観光案内所の運営による情報提供や通訳人材の育成強化を図るとともに、電子決済システムの導入によるキャッシュレス環境の充実、Wi-Fi環境の整備、免税店の導入促進、多言語表記の推進など、外国人観光客の受入環境の充実を図ります。<政策・商工> 	推進						A							政策・商工	
			○県が整備・補助した無料公衆無線LANアクセスポイント数 (17) 670アクセスポイント →(22) 1,000アクセスポイント	925アクセスポイント	950アクセスポイント	975アクセスポイント	1,000アクセスポイント	988アクセスポイント	100%									
			○善意通訳組織「徳島GGクラブ」会員数 (17) 102人 → (22) 150人	120人	130人	140人	150人	131人	100%									
342	3-2-1	154	<ul style="list-style-type: none"> 「コンセプト泊」を発展し、地域活性化はもとより、新たなビジネスモデル創出に繋げていくため、イベント・レジャーへの参加や宿泊施設・コワーキングスペースなどの利活用に寄与する、徳島ならではの「ワーケーションアワーケーション」を推進します。(再掲)<政策> 	推進						-							政策・商工	
			○地域での社会貢献活動を行う企業数(累計) (17) →(22) 20社			10社	20社	—	—									

番号	行動計画 該当箇所		(現行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				実績		主要施策 判定	(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	実績値 (R2)	達成率 (R2)			2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
343	3-2-1	155	●観光地の魅力を向上させるため、主要幹線道路の整備によるアクセス向上に加え、国内外からの観光客が安心して楽しく訪問できる案内標識の整備等、観光地の魅力を向上させる新たな施策を推進します。〈県土〉	推進						A						県土	
			○外国人にもわかりやすい 観光・地点案内表示の県内の設置数(累計) (17) 82基→(22) 260基	170基	200基	230基	260基	223基	100%								
			○「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」をはじめとする 県内各観光地へのアクセスルート整備箇所数(累計) (17) 2箇所→(22) 20箇所	8箇所	13箇所	17箇所	20箇所	13箇所	100%								
			○既存の「道の駅」における子育て応援箇所数(累計) (17) ー→(22) 10箇所	2箇所	5箇所	7箇所	10箇所	5箇所	100%								
344	3-2-1	155	●国内外への「徳島」及び「にし阿波」の認知度向上と、観光誘客の促進及び滞在期間の延長を図るため、主要な観光地とアクティビティや世界農業遺産体験などを組み合わせた体験・滞在プログラムの開発やにし阿波の魅力を活かしたワーケーション誘致に取り組むとともに、オンラインやSNS等を活用し、ニューノーマルに対応した戦略的な情報発信を推進します。〈西部〉	推進						C						西部	
			○DMOが作成したリアルとオンラインによる ハイブリッド型の体験・滞在プログラムの参加者数 (17) 703人→(22) 1,000人			940人	1,000人	971	100%								
			○ワーケーション等を実施する国内外企業数 (17) ー→(22) 15社			11社	15社	-	-								
			○リアルとオンラインを活用したハイブリッド型による 体験・滞在プログラムのファムツアーの催行回数 (累計) (17) ー→(22) 6回			3回	6回	6,070泊	100%								

【前回の改善見直しにおいて対応済み】
前回の改善見直しにおいて、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光に対する社会的ニーズが変化しているため、リアル「ホテル・旅館以外での体験型観光延べ受入泊数」を見直し、リアルとオンラインを活用したハイブリッド型の体験・滞在プログラムやワーケーションの推進に関する新たな指標としている。

番号	行動計画 該当箇所		(現行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				実績		主要施策	(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局		
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	実績値 (R2)	達成率 (R2)			判定	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)			2022 (R4)	
348	3-2-2	156	●本県の持つ豊かな自然や食材、伝承された知恵や技術、個性ある郷土芸能など、本県ならではの地域資源を活用した体験メニューを磨きあげ、教育旅行の受入促進や 特色ある地域の文化を活かしたイベントの開催などによる誘客促進を図ります。＜商工＞ ○体験型教育旅行における 延べ受入泊数(協議会受入) ('17) 4,967泊→('22) 6,000泊 ○「国際“怪フォーラム”(仮称)」の開催 ('20) 開催	推進							●本県の持つ豊かな自然や食材、伝承された知恵や技術、個性ある郷土芸能など、本県ならではの地域資源を活用した体験メニューを磨きあげ、 県内教育機関を含めた 教育旅行の受入促進や 特色ある地域の文化を活かしたイベントの開催などによる誘客促進を図ります。＜商工＞	推進					コロナ禍により高まっているマイクロツーリズム(近場旅行)の需要を取り込むため、新たに県内教育機関の教育旅行を加える。	商工	
349	3-2-2	156	●農山漁村での生活や農林漁業体験ができる「とくしま農林漁家民宿」に対し、開業支援や新型コロナウイルス感染症対策等のスキルアップを図ることにより、受入体制を整備し、徳島の農山漁村地域への誘客を促進します。＜農林＞ ○ニューノーマル対応とくしま農林漁家民宿数 ('17) ー→('22) 40軒 ○ニューノーマル対応とくしま農林漁家民宿の宿泊者数 ('17) ー→('22) 4,000人	推進							●農山漁村での生活や農林漁業体験ができる「とくしま農林漁家民宿」に対し、開業支援や新型コロナウイルス感染症対策等の 受入体制の強化を図るとともに、四国4県で連携した広域でのPR活動の展開等により 、徳島の農山漁村地域への誘客を促進します。＜農林＞						県政運営評価戦略会議において、「要改善」との提言を受けたところであり、コロナ禍における移動自粛などの影響により、宿泊者が大幅に減少する中、アフターコロナ時代の円滑な宿泊者受入れに向けて、農泊ガイドライン等を踏まえたニューノーマル対応の受入体制整備を推進することとし、R3年度より数値目標を見直ししており、その目標達成に向け、取組の充実・強化を図る。	農林	
350	3-2-2	156	●国内外に向けて本県の物産・観光の情報発信を推進するため、県の「大阪・名古屋物産センター」や、「コンビニ型アンテナショップ」のさらなる展開を促進するとともに、県外の民間店舗を「阿波とくしまアンテナショップ」として認定し、活用することで効果的な情報発信に努め、県産品の販路拡大・販売促進を図ります。＜商工＞ ○コンビニ型アンテナショップの新規取扱商品数 ('17) 510件→('22) 850件	推進													商工		
351	3-2-2	156	●映像を通じて徳島の魅力を発信するため、三好長慶の大河ドラマ化にチャレンジするなど、徳島を舞台にした映画やドラマ等のロケを誘致・支援します。＜商工＞ ○ロケ支援件数 ('17) 59件→('22) 85件	推進								●映像を通じて徳島の魅力を発信するため、三好長慶の大河ドラマ化にチャレンジするなど、徳島を舞台にした映画やドラマ、 海、山、川などの自然をテーマにした番組 等のロケを誘致・支援します。＜商工＞	推進					自然をテーマにした番組等のロケについても誘致・支援することにより、本県の豊かな自然を活かした観光誘客を図るため。	商工

番号	行動計画 該当箇所		(現行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				実績		主要施策 判定	(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局	
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	実績値 (R2)	達成率 (R2)			2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)			
352	3-2-2	156	<ul style="list-style-type: none"> 「関西の台所」を誇る「食の宝島」、「体験型観光の先進地」としての徳島ならではの魅力を「観光とくしまブランド」として確立させ、観光誘客を促進するため、徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」の「AI」を活用したFAQの充実を図り、観光客のニーズに即した観光情報の提供や旅行計画のサポートを行います。 また、SNSとの連携強化、API連携(外部サイトの二次利用機能)による飲食・宿泊・体験・二次交通の自動情報取得等を通じて、観光情報発信の強化を図ります。<商工> 	推進						A							商工	
			○観光情報サイト総アクセス件数 (’17) 523万件→(’22) 600万件	540万件	560万件	580万件	600万件	529万件	94%									
353	3-2-2	157	<ul style="list-style-type: none"> 吉野川を今後さらに輝かせ、全国へ誇れる「徳島ならではの」の魅力あるブランドとするため、「恵みの宝庫「吉野川」創造プロジェクト」により、吉野川における新たな観光資源の創出や吉野川の歴史・文化・環境・水とのふれあいに関する講座の開催に加え、オンライン発信などに取り組みます。<県土> 	推進						A							県土	
			○講座の受講者数 (’17) 140人→(’19)～(’22) 年間150人以上	150人	150人	150人	150人	151人	100%									
354	3-2-2	157	<ul style="list-style-type: none"> 本県の優れた自然景観等を有する自然公園などについて、自然景観等の保護や利用の増進を図るため、関係機関と連携し、施設の効率的・効果的な整備を行います。<危機> 	推進						A							令和3年度の実績見込みが目標値を大きく上回ると推計されるため、成果・効果の更なる向上を目指し、自然公園トイレの洋式化実施率の目標数値について上方修正する。	危機
			○登山道と四国のみちの再整備ルート数 (’17) 14ルート→(’22) 17ルート	15ルート	15ルート	16ルート	17ルート	15ルート	100%									
			○自然公園トイレの洋式化実施率 (’17) 29%→(’22) 75%	31%	41%	56%	75%	76%	100%		○自然公園トイレの洋式化実施率 (’17) 29%→(’22) 85%	31%	41%	56%	85%			
355	3-2-2	157	<ul style="list-style-type: none"> 国内外からの観光誘客を図り、地域の活性化に繋げるため、県内に架かる橋をPRする「橋の博物館とくしま」のホームページの充実や橋梁史などを記載した「ブリッジカード」の英語版を作成するとともに、地域の景観や文化を感じながら自転車で橋を巡る「ブリッジサイクルツアー」を通して、橋の魅力を広く発信します。<県土> 	推進													県土	

ターゲット3 「発展とくしま・革新創造」の実装

【重点戦略2】
ニューノーマル対応！観光誘客の拡大

主要施策：3 四季を通じたにぎわいの創出			戦略会議評価																				
			要改善		工程(年度別事業計画)				実績		主要施策	(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標				工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局		
番号	行動計画 該当箇所		(現行) 主要事業の概要・数値目標	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	実績値 (R2)	達成率 (R2)	判定					2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)					
	位置 づけ	該当頁																					
356	3-2-3	157	<ul style="list-style-type: none"> 夏の阿波おどりはもとより、春、秋の「阿波おどり」の更なる充実や、冬の「阿波おどり」の定章、有名連の練習風景の観光資源化など、阿波おどりの適年活用に取り組みとともに、ニューノーマルに対応した新たな阿波おどりを実装し、本場徳島をPRする「世界阿波おどりサミット」の開催を契機に、世界の「阿波おどり連」との連携強化を図り、オンライン等を活用した魅力発信を行うことにより、「徳島ファン」の拡大を図り、国内外から本県を訪れる観光客の周遊と宿泊を促進します。(再掲) <商工> 							-											商工		
			○「世界阿波おどりサミット」の開催 (19) 開催					-	-														
357	3-2-3	157	<ul style="list-style-type: none"> 国内外から注目を集める「マチ★アソビ」を核としたアニメイベントを、参加者全員が安心して楽しめるニューノーマルに対応した形で開催することにより、徳島ならではの魅力を活かしたにぎわいの創出や新たな地域文化の創造と発信を図ります。 <商工> 																		商工		
358	3-2-3	157	<ul style="list-style-type: none"> 「アニメの聖地徳島」として、世界にアニメ文化を発信し、地域の活性化、観光誘客の促進を図るため、国内外のアニメファンが集う「マチ★アソビ」と、徳島の特徴を活かした「LEDデジタルアート」との融合による「ナイトタイムイベント」をAR技術を活用して開催することにより、感染拡大防止に配慮しながら、新次元の「驚きと感動体験」を実現します。 <商工> 							C	<ul style="list-style-type: none"> 「アニメの聖地徳島」として、世界にアニメ文化を発信し、地域の活性化、観光誘客の促進を図るため、国内外のアニメファンが集う「マチ★アソビ」と、徳島の特徴を活かした「LEDデジタルアートイベント」を最新技術を活用して開催することにより、感染拡大防止に配慮しながら、新次元の「驚きと感動体験」を実現します。 <商工> 											感染拡大防止に配慮しつつ、県内クリエイターの優れた作品の発表機会を提供するとともに、多くの県民にデジタルアートに触れ、関心を高めてもらう場として開催することで、将来の人材育成に繋げる。	商工
			OLEDデジタルアートとの融合によるナイトタイムイベントの開催 (20) 開催					中止	0%														
359	3-2-3	158	<ul style="list-style-type: none"> 県内のスポーツ振興や、県民の健康増進を図るため、スタッフやボランティアなどを含めた参加者全員の安全・安心に配慮しつつ、ランナー以外の方も参加できる関連イベントを実施するなど、参加者の満足度の高い、「おもてなしの心」あふれる「とくしまマラソン」を開催します。 <商工> 							-												商工	
			○ランナー満足度 (17) 76.8点→(22) 85.0点	80.5点	82.0点	83.5点	85.0点	-	-														
360	3-2-3	158	<ul style="list-style-type: none"> 「ナイトタイムエコノミー」の活性化を図るため、ニューノーマルに対応した「ナイトイベント」の開催を支援し、宿泊者数及び夜間の観光消費額の増加を図ります。また、ナイトイベントの開催場所として県有施設の活用を図ります。 <商工> 																			商工	

番号	行動計画 該当箇所		(現行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				実績		主要施策	(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局			
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	実績値 (R2)	達成率 (R2)			判定	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)			2022 (R4)		
361	3-2-3	158	<ul style="list-style-type: none"> 「鴻の道」、「あすたむらんど徳島」、「美馬野外交流の郷」などにおいて、感染症対策を徹底し、安心して楽しめる交流拠点の魅力を発信し、ニューノーマルに対応したイベントの充実にも努めるとともに、来場者へのアンケートを実施し、意見を踏まえた取組みやサービスを提供することで満足度の向上を図ります。〈商工〉 	推進						A							商工			
			<ul style="list-style-type: none"> ○「鴻の道」、「あすたむらんど徳島」及び「美馬野外交流の郷」の満足度数 (17) 70%→(22) 80% 	74%	76%	78%	80%	89%	100%											
362	3-2-3	158	<ul style="list-style-type: none"> 本県への交流人口の増加を図るため、「とくしまコンベンション誘致推進協議会」を核に、オンライン併用などのニューノーマルに対応した大会をはじめ、積極的なコンベンション誘致活動を展開します。〈商工〉 	推進						C								前回の改善見直しにおいては、新型コロナウイルス感染症の影響等を受ける中、数値目標達成に向け、オンラインによる開催や感染対策を行う等、ニューノーマルの手法を取り入れた改善見直しを行った。今年度についても引き続き、数値目標の達成に向けて、オンラインの取組を充実させることにより、事業を推進していく。	商工	
			<ul style="list-style-type: none"> ○リアルとオンラインのハイブリッド会議等(中四国規模以上)開催回数(累計) (17) →(22) 45回 			20回	45回	-	-											
363	3-2-3	158	<ul style="list-style-type: none"> 世界初となるDMVの本格営業運行を契機として、インバウンドをはじめとする県南部の観光誘客を図るため、(一社)四国の右下観光局や阿佐海岸鉄道(株)など関係機関と連携し、観光周遊ルートづくりをはじめとするDMVを活用した魅力ある観光コンテンツを開発します。〈南部〉 		開発	推進				A								南部		
			<ul style="list-style-type: none"> ○DMVを活用した観光コンテンツの開発 (20) 開発 					開発	100%											
364	3-2-3	158	<ul style="list-style-type: none"> 「防災・健康」のリバーシブルな役割を担う西部健康防災公園を「にぎわい交流の拠点」とするため、広大なフィールドを活用し、ニューノーマルに対応した各種大会やスポーツ合信等の誘致を行い、にぎわい創出を図ります。〈西部〉 	推進						C									【前回の改善見直しにおいて対応済み】 前回の改善見直しにおいて、消毒や換気、密の回避等、十分な感染症予防対策を講じるようニューノーマルの手法を取り入れた改善見直しを行った。引き続き、約50haの広大なフィールドに、全天候型の体育施設として活用できる西部防災館をはじめ、グラウンド、キャンプ場などを有することから「宿泊できるスポーツ施設」として情報発信し、ニューノーマル対応したスポーツ大会やイベントの開催を推進する。	西部
			<ul style="list-style-type: none"> ○「西部健康防災公園」を活用したスポーツやレクリエーションでの利用者数(再掲) (17) 91,772人→(22) 10万人以上 	10万人	10万人	8万人	10万人	6.1万人	61%											

ターゲット3 「発展とくしま・革新創造」の実装

【重点戦略2】
ニューノーマル対応！観光誘客の拡大

主要施策：4 ゲートウェイとくしまの加速			戦略会議評価																	
			要改善		工程(年度別事業計画)				実績		主要施策	(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標				工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要
番号	行動計画 該当箇所		(現行) 主要事業の概要・数値目標				実績		判定	(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標				工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局	
	位置 づけ	該当頁	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	実績値 (R2)	達成率 (R2)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)							
365	3-2-4	159	<ul style="list-style-type: none"> アフターコロナを見据え、クルーズ船寄港時の観光モデルコースを構築し、船社や旅行代理店等に情報を発信するとともに、関係機関と連携し、WITHコロナにおける安全安心な寄港を実現するため、感染予防対策の徹底を図ります。<県土> 				21,621人	61%	C	<ul style="list-style-type: none"> クルーズ来県者数(直近4年の累計) (’17) 26,636人 → (’20) 35,000人 クルーズ船寄港時の観光モデルコースの構築(累計) (’17) - → (’22) 10コース 				「クルーズ寄港時の観光モデルコースの構築件数(累計)」を新たな目標とした。(R3改善見直し済み)				県土		
366	3-2-4	159	<ul style="list-style-type: none"> 2025年大阪・関西万博開催を視野に、国内外との交流拡大による本県経済の活性化を図るため、エアポートセールスを推進し、国内外との航空ネットワークの維持・充実を図ります。<県土> 				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	県土
367	3-2-4	159	<ul style="list-style-type: none"> 本県の「地域経済の発展」や「国際貿易の充実・強化」につなげていくため、物流拠点である「徳島小松島港コンテナターミナル」の機能を最大限に活かし、集荷拡大に向けた利便性の高い港づくりに取り組みます。<県土> 				-2%	0%	C	<ul style="list-style-type: none"> コンテナ貨物取扱量 (’17) 11,803TEU(実績量) →(’22) 2017年度比12%増 				5月にリーチスタッカーを更新し、利便性の向上を図るとともに、荷主などに対する支援対象に、「釜山トランシップ貨物」を新たに追加し、競争力強化を図っている。				県土		
368	3-2-4	159	<ul style="list-style-type: none"> 徳島小松島港沖洲(外)地区複合一貫輸送ターミナルの利用促進のため、「港内の静穏」と「船舶航行の安全」の向上を図る、防波堤延伸整備の促進及び、アクセスを向上させる臨港道路整備を推進します。<県土> 				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	県土

ターゲット3 「発展とくしま・革新創造」の実装

【重点戦略5】

ポスト東京オリパラ！経済好循環へ

主要施策：3 就労支援と職業能力開発の充実			戦略会議評価																
			要改善																
番号	行動計画 該当箇所		工程(年度別事業計画)				実績		主要施策 判定	(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局			
	位置 づけ	該当頁	(現行) 主要事業の概要・数値目標	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	実績値 (R2)			達成率 (R2)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)			2022 (R4)		
475	3-5-3	182	<ul style="list-style-type: none"> ●産業界との連携等により、テクノスクールの訓練内容の充実強化を図り、複数の技能を有する人材や5Gなどの最新技術に対応できる人材を育成します。また、子どもの頃から「ものづくり産業」に対する職業観の醸成を図るとともに、ドイツ手工業会議所との職業訓練交流及び徳島版マイスター制度を推進します。＜商工＞ 	推進						C	<ul style="list-style-type: none"> ●産業界との連携等により、テクノスクールの訓練内容の充実強化を図り、ニューノーマルに対応した手法を活用しながら、複数の技能を有する人材や5Gなどの最新技術に対応できる人材を育成します。また、子どもの頃から「ものづくり産業」に対する職業観の醸成を図るとともに、ドイツ手工業会議所との職業訓練交流及び徳島版マイスター制度を推進します。＜商工＞ 	推進					引き続き、複数の技能を有する人材や、最新技術に対応できる人材を育成していくため、ニューノーマルに対応した手法を活用しながら事業を推進していく。	商工	
			○テクノスクール訓練生の技能照査合格率 (17) 77.7%→(22) 81.0%	78%	79%	80%	81%	63.8%	80%										
			○離職者等に対する職業訓練の設定コース数 (17) 39コース→(22) 47コース	41 コース	43 コース	45 コース	47 コース	39 コース	90%										
			○DXに対応できる技能者の養成数 (17) → (22) 85人			70人	85人	-	-										
			○技能検定受検者数 (17) 1,264人→(22) 1,440人	1,330人	1,360人	1,400人	1,440人	1,299人	95%										
			○技能五輪全国大会、技能グランプリ等への出場者数 (17) 4人→(19) ～(22) 年間10人	10人	10人	10人	10人	4人	40%										
			○ドイツとの職業訓練交流における企業での実習日数 (17) →(19) ～(22) 年間3日	3日	3日	3日	3日	-	0%										
476	3-5-3	182	<ul style="list-style-type: none"> ●徳島県内における労働力不足の解消のため、「とくしまジョブステーション」や「すだちくんハローワーク」において、関係機関と連携し、若年者、中高年齢者、UIターン希望者等を対象に職業紹介や職業相談などを行います。また、プロフェッショナル人材戦略拠点において、地域金融機関や民間人材サービス事業者等との連携を図り、企業のニーズに応じた優秀な人材の確保に努めます。＜商工＞ 	実施						A								プロフェッショナル人材戦略拠点の体制拡充や、金融機関等の関係機関との連携及び多様な形態でのマッチングの促進などにより、既に令和3年度の数値目標を達成した。企業の人材確保を一層図るため、数値目標の上方修正を行う。	商工
			○「とくしまジョブステーション」及び「すだちくんハローワーク」の支援による就職率 (17) → (19) ～(22) 45%	45%	45%	45%	45%	55%	100%										
			○プロフェッショナル人材戦略拠点における成約件数 (17) 28件→(19) ～(22) 年間30件	30件	30件	30件	30件	54件	100%		○プロフェッショナル人材戦略拠点における成約件数 (17) 28件→(19) ～(22) 年間 40件	30件	30件	30件	40件				
477	3-5-3	182	<ul style="list-style-type: none"> ●出産・育児等により離職せざるを得なかった女性の再就職準備や就労を支援するため、就職に関する情報の提供やスキルアップに向けた講座等や、管理職、起業を目指す女性などを対象に、キャリアアップに向けたセミナーや県内大学と連携した「ウーマンビジネススクール」をニューノーマルに対応した形式で開催します。(再掲)＜商工＞ 	推進						A								商工	
			○女性の再就職や就労を支援する講座等における就業率 (17) 32%→(22) 60%以上	45%	50%	55%	60%	50%	100%										
			○「ウーマンビジネススクール」の参加者数(累計) (17) 20人→(22) 70人	40人	50人	60人	70人	49人	98%										

番号	行動計画 該当箇所		(現行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				実績		主要施策	(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	実績値 (R2)	達成率 (R2)			判定	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)		
478	3-5-3	183	<ul style="list-style-type: none"> 多様な外国人材が集う徳島の実現のため、県内在住や定住を希望する外国人に対する、就労支援、労働相談窓口の設置等、きめ細かな支援体制の整備を図ります。 また、大学等の高等教育機関、産業界、県が一体となって外国人留学生の受け入れ拡大を図るとともに、留学生等を対象とした企業説明会・マッチングフェアを積極的にオンラインを活用した、ニューノーマルに対応した形式で開催するなど、県内定着支援の強化を図ります。 (再掲) <政策・商工> 	充実・実施						B							政策・商工
			○定住外国人の就労を支援する講座等における就業率 (‘17) 24% → (‘22) 40%以上 *過去3年平均	28%	32%	36%	40%	20%	62%								
			○すだちくろハローワーク「外国人労働相談窓口」の設置 (‘20) 設置					設置済	100%								
			○県内大学等への留学生受入数 (‘17) 399人 → (‘22) 500人	425人	450人	475人	500人	473人	100%								
479	3-5-3	183	<ul style="list-style-type: none"> 若年無業者(ニート)等の就業を促進するため、「地域若者サポートステーション」において、専門家による個別相談等を実施するとともに、国の事業と連携した進路決定者向けのフォローアップなどを行うほか、ひきこもり支援機関やハローワーク等の各関係機関と連携することにより、ネットワークを活用した支援を行います。 <商工> 	実施						A							商工
			○徳島県内の地域若者サポートステーションにおける新規登録者数に対する進路決定率 (‘17) 45.7% → (‘22) 60.0%	54.0%	56.0%	58.0%	60.0%	77.9%	100%								
480		183	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響で、非正規雇用者を中心に厳しい雇用情勢にあることから、幅広い世代を対象に、非正規雇用者を正社員化した企業等に対して助成を行うとともに、職場体験の実施、職業面接会の開催により企業と求職者のマッチングを図ることにより、「雇用の安定化」を促進する。 <商工> 	推進						-							商工
			○助成金の活用による徳島県内の正社員転換等人数 (‘21) ~ (‘22) 毎年100人			100人	100人	-	-								
481	3-5-3	183	<ul style="list-style-type: none"> 就労意欲があるにもかかわらず就労できないひとり親家庭の親及び子に対して、ニューノーマルに対応した手法を活用しながら、技能や資格を習得するための講習会や自立支援プログラムの策定を実施し、就労を支援します。 <未来> 	実施						A							未来
			○「母子・父子自立支援プログラム」を活用した就職率(再掲) (‘17) 56% → (‘19) ~ (‘22) 56%以上	56%	56%	56%	56%	64%	100%								
482	3-5-3	183	<ul style="list-style-type: none"> 県内高校生等を対象に県南の基幹産業である漁業が体験できる講習会を開催することで、就業の機会を増やします。 <南部> 	推進						A							南部
			○漁業体験者数 (‘17) 年間20人 → (‘19) ~ (‘22) 年間30人	30人	30人	30人	30人	28人	93%								
483	3-5-3	183	<ul style="list-style-type: none"> 若者の入社後の早期離職(雇用のミスマッチ)を解消するため、3密回避など感染症対策に留意しながら、小学校入学時から仕事に対する興味を抱き、成長段階に応じて職業観を育成することを推進します。 <商工> 	推進						C							商工
			○小中高等学校の職業体験校数 (‘17) 5校 → (‘22) 8校	5校	6校	7校	8校	7校	100%								
			○ものづくり体験イベントの実施回数 (‘17) 1回 → (‘22) 5回			4回	5回	-	-								

ターゲット4 「躍動とくしま・感動宝島」の実装

【重点戦略1】
世界に誇る！「あわ文化」の創造と継承

主要施策：1 あわ文化による「文化と経済の好循環」			戦略会議評価		要改善		工程(年度別事業計画)		実績		主要施策		工程(年度別事業計画)		改善見直しの理由及び概要		部局		
			2019 (R1)	2020 (R2)															2021 (R3)
番号	行動計画 該当箇所		(現行) 主要事業の概要・数値目標				2019 (R1)		2020 (R2)		2021 (R3)		2022 (R4)		改善見直しの理由及び概要		部局		
	位置 づけ	該当頁	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	実績値 (R2)	達成率 (R2)	判定										
484	4-1-1	187	●「あわ文化」を大切に引き継ぎ育んできた基盤を活かし、県民一人一人が、本県の伝統・文化を学び、徳島に誇りをもって、新たな文化創造の担い手として積極的に活動する。「文化立県とくしま」を実現します。また、本県が誇る「あわ文化」や文化財の魅力を、活力あるまちづくりに活かし、文化と経済の好循環を図ります。<未来> ○「徳島県文化芸術推進基本計画」の策定('19)策定	推進														未来	
485	4-1-1	187	●「阿波藍」「阿波人形浄瑠璃」「阿波おどり」「ベートーヴェン第九」の「4大モチーフ」をはじめとする「あわ文化」の継承・発展に向け、ニューノーマルに対応した取組みを進めるとともに、積極的に観光資源としても活用し、「あわ文化」の魅力を広く発信します。(再掲)<未来> ○徳島版「とくしま文化プログラム」の実施('19)~('21)実施 ○「藍色展2020」の開催('19)開催 ○阿波人形浄瑠璃「人形座」の海外派遣('19)派遣 ○阿波人形浄瑠璃公演等入場者数('17)36,343人→('22)38,000人	推進														未来	
486	4-1-1	187	●県民の文化活動の更なる促進や次世代の人材育成をはじめ、優れた文化芸術の鑑賞機会の提供やにぎわいの創出を図り、希望あふれる徳島の未来を創生するため、県市協働により県都のランドマークとなる「新ホール」の整備を推進します。(再掲)<未来> ○文化芸術の拠点となる新ホールの整備('21)~設計・施工			推進												未来	
487	4-1-1	187	●観光消費額の増加による地域経済の活性化と、住民の愛着や誇りを醸成する豊かな地域社会の実現を図るため、「鳴門の渦潮」、「阿波の土柱」などの雄大な自然や、「阿波おどり」、「お濤路」をはじめとする歴史・文化など、魅力的な地域資源を観光地経営の視点に立って活用し、国内外からの観光誘客を推進します。また、本県を代表する伝統文化「阿波おどり」の海外公演、指導者派遣やオンライン配信等を活用した魅力発信を行うことにより、徳島の認知度向上並びに「徳島ファン」の拡大を図り、本県の観光誘客に繋がります。<商工> ○観光消費額(暦年)('17)889億円→('22)1,090億円 ○各国大使館等と連携した「阿波おどり」の海外公演、指導者派遣やオンライン配信等を活用した魅力発信回数(累計)(再掲)('17)4回→('22)30回	推進															商工

番号	行動計画 該当箇所		(現行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				実績		主要施策 判定	(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	実績値 (R2)	達成率 (R2)			2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
488	4-1-1	188	● 広く県内外に向けて文化・芸術の感動や体験の場を提供するため、デジタルアーカイブ事業を推進するとともに、魅力ある企画展やイベントを開催します。〈未来〉	推進						C					文化の森各館が所蔵する貴重な資料をデジタル化し、インターネット上で公開する「とくしまデジタルアーカイブ事業」の推進により、文化の森の魅力発信を強化する一方、衛生用品の充実、施設内での徹底した感染防止対策を行うことにより、安心して来館できる環境の中で、引き続き魅力ある企画展やイベントを開催する。	未来	
			○文化の森総合公園文化施設入館者数 (17) 814,816人→(22) 年間85万人	81万人	81万人	83万人	85万人	63万人	77%								
			○「とくしまデジタルアーカイブ」アクセス数 (17) →(22) 16万件			14万件	16万件	-	-								
489	4-1-1	188	● 次代の担い手を育てるため、あわ文化や芸術作品に直接触れる機会を設けるとともに、野外かんさつ会や鑑賞教室、古文書講座等の多様な体験の機会をニューノーマルに対応した形で提供します。〈未来〉	推進						C					前回の改善見直しにおいて、参加者数の制限、開催場所の変更等、ニューノーマルに対応した開催方法に見直し、感染防止対策を徹底することにより、安心して参加できる機会を引き続き提供する。	未来	
			○文化の森文化施設普及事業の開催回数 (17) 328回→(19) ~ (22) 年間330回以上	330回	330回	330回	330回	235回	71%								
			○文学書道館等拠点となる文化施設での講座開催回数 (17) 125回→(19) ~ (22) 年間130回以上	130回	130回	130回	130回	75回	57%								
490	4-1-1	188	● 歴史的に本県に息づいてきた「邦楽・クラシック・ジャズ」の「あわ三大音楽」について、県民が主体となって音楽を演奏する機会の充実を図り、「県民主役」の取組みを推進するとともに、親子で気軽に音楽にふれあう機会を創出します。また、県民誰もが「あわ文化」に身近にふれあう機会をニューノーマルに対応した形で創出します。〈未来〉	推進						C					「はぐみコンサート」と「ワークショップ」については、年度内延期し、感染対策を徹底した上で開催予定。「夏の音楽祭」については、補完的な取り組みとして関連事業を実施予定。	未来	
			○「とくしま夏の音楽祭」への参加者数 (17) →(19) ~ (22) 年間2,200人以上	2,200人	2,200人	2,200人	2,200人	0人	0%								
			○「はぐみコンサート」開催回数 (17) 1回→(19) ~ (22) 年間3回以上	3回	3回	3回	3回	0回	0%								
			○児童や生徒を対象とした人形浄瑠璃・邦楽の「体験型ワークショップ」の開催 (20) ~ (22) 開催					未実施	0%								

ターゲット4 「躍動とくしま・感動宝島」の実装

【重点戦略1】

世界に誇る！「あわ文化」の創造と継承

主要施策：2 「新たな文化」によるにぎわい創出			戦略会議評価															
			要改善															
番号	行動計画 該当箇所		工程(年度別事業計画)				実績		主要施策	(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局		
	位置 づけ	該当頁	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	実績値 (R2)	達成率 (R2)	判定		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)				
491	4-1-2	188	●国内外から注目を集める「マチ★アソビ」を核としたアニメイベントを、参加者全員が安心して楽しめるニューノーマルに対応した形で開催することにより、徳島ならではの魅力を活かしたにぎわいの創出や新たな地域文化の創造と発信を図ります。(再掲) <商工>				開催										商工	
492	4-1-2	188	●「アニメの聖地徳島」として、世界にアニメ文化を発信し、地域の活性化、観光誘客の促進を図るため、国内外のアニメファンが集う「マチ★アソビ」と、徳島の特色を活かした「LEDデジタルアート」との融合による「ナイトタイムイベント」をAR技術を活用して開催することにより、感染拡大防止に配慮しながら、新次元の「驚きと感動体験」を実現します。(再掲) <商工>				開催											商工
			OLEDデジタルアートとの融合によるナイトタイムイベントの開催 (20) 開催						中止	0%								
493	4-1-2	188	●世界的な盛り上がりを見せる「eスポーツ」を、徳島の新たな文化として積極的に活用し、地域活性化と共生社会の実現に向けた取組みを推進します。 <未来>				推進											
			○国体「eスポーツ」への選手派遣 (19)～(22) 派遣						派遣	100%								
			○「eスポーツ」徳島県知事杯の創設 (19) 創設						-	-								
			○全国規模の競技会・交流会の開催 (22) 開催						-	-								
新規									-	-							未来	
											○「eスポーツ」発信スペースの整備 (22) 開設							

ターゲット4 「躍動とくしま・感動宝島」の実装

【重点戦略1】

世界に誇る！「あわ文化」の創造と継承

主要施策：3 あわ文化創生プロジェクトの推進			戦略会議評価													
			要改善													
番号	行動計画 該当箇所		工程(年度別事業計画)				実績		主要施策 判定	(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁	(現行) 主要事業の概要・数値目標	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	実績値 (R2)			達成率 (R2)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)		
494	4-1-3	189	● オンラインによる同時配信をはじめ、ニューノーマルに対応した形でのワークショップや公演の実施など、児童生徒が身近に芸術文化に触れる機会を充実させるとともに、児童生徒を対象に、芸術文化分野での創作活動の支援や伝統芸能分野での担い手育成を行い、地域に根ざした文化の発信活動を支援します。＜教育＞ ○ 学校への芸術家等派遣事業に参加した児童生徒数 (17) 10,620人*→(19)～(22)年間10,000人 *過去3年平均	10,000人	10,000人	10,000人	10,000人	4,370人	43%	C					前回の改善見直しにおいては、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、目標達成に向け、日程の延期等調整を行いながら、オンラインによるワークショップや本公演の少人数開催・同時配信等、ニューノーマルに対応した形で、改善見直しを行った。今年度についても引き続き、主催である文化庁と連携し、数値目標の達成に向けて、オンラインや対面を組み合わせたハイブリッド型の芸術文化体験活動の実施を推進していく。	教育
495	4-1-3	189	● 次代を担う若者の文化芸術力を高めるため、中学生の「あわっ子文化大使」や、高校生となった「あわっ子文化大使サポーター」が活躍・交流する機会を、タブレット端末の活用をはじめ、ニューノーマルに対応した形で提供し、「あわ文化教育」を推進します。＜教育＞ ○ あわっ子文化大使・サポーターの活動参加人数 (17) 118人→(19)～(22)年間130人	130人	130人	130人	130人	152人	100%	A						教育
496	4-1-3	189	● 次代の「あわ文化」を担う人材を育むため、徳島県中学校文化連盟と連携して、感染症対策の徹底をはじめ、ニューノーマルに対応しながら、学校や市町村の枠を越えて文化芸術に親しむ機会である中学校の文化の祭典「徳島県中学校総合文化祭」におけるワークショップや舞台発表を充実させ、中学生の文化芸術力を高めるとともに、全国に向けて発信します。＜教育＞ ○ 「徳島県中学校総合文化祭」の来場者数 (17) 2,138人*→(19)～(22)年間2,500人以上 *過去3年平均 ○ 各分野で活躍する芸術家を招いての「中学生ワークショップ」の開催 (19)～(22)開催 ○ 「第5回徳島県中学校総合文化祭5周年記念大会」の開催 (19)開催	2,500人	2,500人	2,500人	2,500人	789人	31%	C					前回の改善見直しにおいては、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、目標達成に向け、主催である徳島県中学校文化連盟と連携し、無観客開催等、ニューノーマルに対応した形で改善見直しを行った。今年度についても引き続き、徳島県中学校文化連盟と連携しながら、数値目標の達成に向けて、感染症対策を徹底し、限定公開座席指定にするなどニューノーマルに対応した形で工夫して開催し、生徒の主体的な発表の場としていく。また、後日各学校に舞台発表の映像を配布することで、無観客開催になった場合でも舞台発表を観覧することができるよう徳島県中学校総合文化祭を支援していく。	教育
497	4-1-3	189	● 2018年に開催された近畿高等学校総合文化祭徳島大会を契機とする、県内高校生の文化芸術への気運の高まりをシグナルとして拡充・発展できるよう、地域の子どもたちを対象とした高校生による実技講習会を実施し、文化の継承・発展に取り組む次世代アーティストを育成します。＜教育＞ ○ 名西高校「芸術サポーター制度」の創設 (19)創設							-					教育	

ターゲット4 「躍動とくしま・感動宝島」の実装

【重点戦略2】
世界へ飛躍！「スポーツ王国とくしま」新次元の進化

主要施策：1 スポーツ振興によるにぎわいづくり			戦略会議評価														
			要改善														
番号	行動計画 該当箇所		工程(年度別事業計画)				実績		主要施策 判定	(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局	
	位置 づけ	該当頁	(現行) 主要事業の概要・数値目標	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	実績値 (R2)			達成率 (R2)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)			2022 (R4)
501	4-2-1	191	●3大国際スポーツ大会のキャンプ地誘致や、県内での競技大会開催を、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、積極的に推進し、生涯スポーツの機運醸成や県内選手の競技力向上はもとより、地域経済の活性化や国際交流の促進を図ります。＜未来＞ ○「ラグビーワールドカップ2019」における事前チームキャンプ実施(19)実施 ○「東京2020オリンピック・パラリンピック」における事前キャンプの誘致数(17)→(21)6件 ○「ワールドマスターズゲームズ2021関西」における県内での競技大会開催(22)開催	推進						A					「ワールドマスターズゲームズ2021関西」における県内での競技大会開催10月26日に開催されたワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会理事会において、大会を2026年に延期する方向で調整していくことが公表されたため目標を修正する。	未来	
502	4-2-1	191	●3大国際スポーツ大会におけるキャンプ地誘致や競技大会開催を通じて創造される「レガシー」を県民の誰もが実感できるよう、「徳島県スポーツコミッション」を核とする国内外からのスポーツ大会・合宿誘致とともに、ニューノーマルな国際スポーツ交流を実施します。(再掲)＜未来＞ ○国際的及び全国的スポーツ大会や合宿、交流会の県内開催件数(累計)(17)→(22)40件	推進						A						未来	
503	4-2-1	191	●東京2020オリンピック・パラリンピックをはじめとする国際スポーツ大会の開催によって高まったスポーツ参画の機運を一過性のもので終わらせることなく、ニューノーマルに対応しつつ、県民の誰もがスポーツに親しむことのできる生涯スポーツの普及を図り、スポーツ人口の拡大に努めます。＜未来＞ ○成人の週1回以上のスポーツ実施率(17)51.8%→(22)65% ○県民向けスポーツ交流イベント参加者数(17)1,000人→(22)1,300人 ○「全国レクリエーション大会」の開催誘致(22)開催誘致	推進						A						未来	
504	4-2-1	191	●徳島ヴォルティスを通じて、次世代を担う子供たちにプロスポーツのすばらしさを体験してもらおうとともに、スタジアムへの来場を促進するニューノーマルに対応した取組みを行い、県内の更なるにぎわいを創出します。＜商工＞ ○オンラインイベント参加者及びホームタウンデー招待者数(17)1,732人→(22)2,000人	推進							C					前回の改善見直しにおいては、新型コロナウイルス感染症の影響等を受ける中、数値目標達成に向け、オンラインによるイベント開催や感染対策を行う等、ニューノーマルの手法を取り入れた改善見直しを行った。今年度についても引き続き、数値目標の達成に向けて、オンラインイベント等の取組を充実させることにより、事業を推進していく。	商工
505	4-2-1	192	●市町村等と連携協力し、徳島インディゴソックスを通じて、プロスポーツのすばらしさを伝えるとともに、ニューノーマルに対応した取組みにより地元球団を応援する機運醸成を図り、県内のにぎわいを創出します。＜商工＞ ○オンラインイベント参加者及びホームゲーム招待者数(17)1,655人→(22)2,000人	推進							C					前回の改善見直しにおいては、新型コロナウイルス感染症の影響等を受ける中、数値目標達成に向け、オンラインによるイベント開催や感染対策を行う等、ニューノーマルの手法を取り入れた改善見直しを行った。今年度についても引き続き、数値目標の達成に向けて、オンラインイベント等の取組を充実させることにより、事業を推進していく。	商工

番号	行動計画 該当箇所		(現行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				実績		主要施策	(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局	
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	実績値 (R2)	達成率 (R2)	判定		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)			
506	4-2-1	192	<p>●健康や環境にも好影響をもたらすサイクリススポーツのさらなる振興を図るため、ニューノーマルに対応した県内ライドイベントへの参加者の利便性向上及びツーリズムの推進につながるサイクルトレインの運行や、様々なジャンルの自転車等の展示・試乗等を行う「Tokushimaサイクルワールド」の開催により、サイクリストの裾野拡大と自転車を通じた徳島の魅力を発信し、「自転車王国とくしま」の充実を図ります。＜未来＞</p> <p>○サイクルトレインの運行 ('19)～('22) 運行</p> <p>○「Tokushimaサイクルワールド」の開催 ('19) 開催</p>	推進						C	<p>●健康や環境にも好影響をもたらすサイクリススポーツのさらなる振興を図るため、ニューノーマルに対応した県内ライドイベントへの参加者の利便性向上及びツーリズムの推進につながる「サイクルバス」及びサイクルトレインの運行や、様々なジャンルの自転車等の展示・試乗等を行う「Tokushimaサイクルワールド」の開催により、サイクリストの裾野拡大と自転車を通じた徳島の魅力を発信し、「自転車王国とくしま」の充実を図ります。＜未来＞</p> <p>○サイクルトレイン・サイクルバスの運行 ('19)～('22) 運行</p>	推進					更なる自転車の利用促進を図るため、新たに導入した「サイクルバス」の活用についても目標に追加する。	未来
								未実施	0%									
								-	-									
507	4-2-1	192	<p>●サイクルツーリズム*の推進により交流人口の拡大や地域活性化を図るため、兵庫県と連携し、大鳴門橋への自転車道設置を推進します。＜県土＞</p> <p>○大鳴門橋自転車道の整備 ('20) 調査設計・('21) 設計推進中</p>	推進						A							県土	
								調査設計	100%									

ターゲット4 「躍動とくしま・感動宝島」の実装

【重点戦略2】

世界へ飛躍！「スポーツ王国とくしま」新次元の進化

主要施策：2 徳島アスリートの育成強化			評価															
			要改善															
番号	行動計画 該当箇所		工程(年度別事業計画)				実績		主要施策 判定	改善見直し案 (改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局		
	位置 づけ	該当頁	(現行) 主要事業の概要・数値目標	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	実績値 (R2)			達成率 (R2)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)			2022 (R4)	
508	4-2-2	192	● 本県の競技力向上を図るため、団体競技の強化や「お家芸」の復活、優秀な選手・指導者の確保、接戦を勝ち抜くサポート体制の構築、本大会を想定した競技備品の整備など、抜本的な対策を戦略的かつ重点的に展開します。さらに、関係機関・団体により構成される「徳島県団体飛躍対策本部」を中心として、有効な対策をタイムリーに実施します。<未来>	推進						C	● 本県の競技力向上を図るため、団体競技の強化や「お家芸」の復活、優秀な選手・指導者の確保、接戦を勝ち抜くサポート体制の構築、本大会を想定した競技備品の整備など、抜本的な対策を戦略的かつ重点的に展開します。さらに、関係機関・団体により構成される「徳島県団体飛躍対策本部」を中心として、 ニューノーマルに対応した 有効な対策をタイムリーに実施します。<未来>	推進					アフターコロナを見据え、感染状況に応じ練習会、講習会の参加人数を制限するなどニューノーマルに対応した事業の実施に努める。	未来
			○国民体育大会天皇杯順位 (’17) 46位→(’19)～(’22) 毎年30位台	30位台	30位台	30位台	30位台	大会延期	-									
			○元オリンピック選手等によるジュニア選手の指導 (’19)～(’22) 実施					未実施	0%									
509	4-2-2	192	● 2022年に四国で開催する全国高校総体に向け、各競技団体と連携しながら、有力競技の集中強化やお家芸競技の創出に取り組み、科学的なトレーニングを実施することにより国際大会や全国大会等で活躍するトップアスリートの育成・強化を図ります。 また、早い段階での有力選手の発掘・育成を進めるため、活躍が期待できる競技を選考した上で、中学校段階での指導者のスキルアップを図るなど指導体制強化に取り組みます。<教育>	推進						B								
			○全国高等学校総合体育大会等の入賞(団体・個人)数 (’17) 47団体・個人→(’19)～(’22) 50団体・個人	50団体・個人	50団体・個人	50団体・個人	50団体・個人	大会中止	-									
			○全国中学校体育大会等の入賞(団体・個人)数 (’17) 5団体・個人→(’19)～(’22) 13団体・個人	13団体・個人	13団体・個人	13団体・個人	13団体・個人	8団体・個人	61%									
			○有力中学選手「高校生との合同練習会」の実施 (’17) →(’19)～(’22) 「NEO徳島トップスポーツ校」で100%実施	100%	100%	100%	100%	100%	100%									

番号	行動計画 該当箇所		(現 行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				実績		主要施策	(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	実績値 (R2)	達成率 (R2)			判定	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)		
510	4-2-2	193	●全国高校総体や国民体育大会において上位入賞を目指す高校生トップアスリートを育成するため、全国大会上位成績の他県強豪チームを招待し、交流試合等を実施します。トップレベルの競技力を体感することにより、チームや個人の競技力向上を推進するとともに、指導者の育成を図ります。＜教育＞	推進													教育
511	4-2-2	193	●スポーツ拠点校である鳴門渦潮高校の「スポーツ科学科」の充実した施設・設備を活用し、より高度で質の高いスポーツ教育を行い、本県スポーツ科学の普及・振興を図ります。＜教育＞	推進													教育
512	4-2-2	193	●世界で活躍する徳島アスリートの育成強化と、「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の地元機運醸成および出場機会の創出を図るため、地元小学生等を対象にした「サーフィンスクール」を開催するほか、トップアスリートによる実技講習を開催します。＜南部＞	開発	推進					A							南部
			○小学生を対象にしたサーフィンスクールの実施回数(累計) (17) →(22) 5回	2回	3回	4回	5回	3回	100%								
			○トップアスリートによる実技講習の実施(累計) (17) 1回→(22) 6回	3回	4回	5回	6回	4回	100%								

番号	行動計画 該当箇所		(現行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				実績		主要施策	(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	実績値 (R2)	達成率 (R2)			判定	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)		
516	4-3-1	195	<p>● 川口ダム湖畔を中心とした「スマート回廊」のにぎわい創出のため、川口エネ・ミューを核として、カヌー・SUP等の湖面スポーツに親しめる環境整備や、森林体験エリアの活用を地域と共に進め、地方創生へと繋げます。 また、ニューノーマルに対応した環境学習による人材育成のため、DXを推進し、オンラインによるICT授業や、VRによるダム・発電所の施設見学等を実施します。〈企業〉</p>	推進						C					【前回の改善見直しにおいて対応済み】 コロナ禍の往来自粛を受けて、令和3年度からバーチャルコンテンツ体験者数に数値目標を見直しており、更なる地域の賑わい創出を図るため、バーチャルコンテンツのメニューを通して、その体験者数の増加に努める。	企業	
			○「カヌー・SUP(スタンドアップパドル)」の拠点整備 (21) 整備・(22) 開設					-	-								
			○バーチャルコンテンツ体験者数 (17) →(22) 9,000人			8,000人	9,000人	-	-								

ターゲット4 「躍動とくしま・感動宝島」の実装

【重点戦略4】
共生社会の実現！障がい者スポーツ・芸術文化の深化

主要施策：1 障がい者スポーツ・芸術文化の振興			戦略会議評価															
			要改善															
番号	行動計画 該当箇所		工程(年度別事業計画)				実績		主要施策 判定	(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局		
	位置 づけ	該当頁	(現行) 主要事業の概要・数値目標	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	実績値 (R2)			達成率 (R2)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)			2022 (R4)	
517	4-4-1	196	●「障がい者交流プラザ」をニューノーマルに対応させて有効活用し、障がいのある人もない人もスポーツや芸術・文化活動等を通じて、社会参加と交流を促進します。 <保健>	推進						C	「障がい者交流プラザ」において、感染症対策を徹底しつつ、オンラインを活用した講座等を導入することにより、ニューノーマルへの対応と、障がいの有無に関わらずスポーツや芸術・文化活動等を通じた新たな交流を促進します。 <保健>	推進					障がい者交流プラザの新型コロナの感染症対策に十分配慮するとともに、プラザ内で実施している視覚障がい者支援センター講座等においては、これまでの対面形式に加え、オンラインでの実施手法を導入するなど、利用者増加のための取組を強化し、目標達成を目指す。	保健
			○「障がい者交流プラザ」の利用者数 (17) 138,511人→(21) ~ (22) 年間9万人	14万人	14万人	9万人	9万人	84,678人	60%									
			○「障がい者交流プラザ」の貸出施設稼働率 (17) 63.9%→(22) 65%			64%	65%	-	-									
518	4-4-1	196	●障がい者スポーツの裾野の拡大と次世代パラアスリートの発掘・育成を図るため、障がい者スポーツ実施のための環境や、幼少期からスポーツに参画する機会をオンラインの活用も含め創出し、障がい者スポーツ活動の活性化を図ります。 <未来>	推進						C							前回の改善見直しにおいては、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、数値目標達成に向け、ニューノーマルな対応を検討した見直しを行った。 今年度以降についても、感染症対策に十分配慮し、通常よりも広い会場の確保、人数制限、タブレット端末を利用した非接触での体力測定などを実施したうえで開催し、目標達成を目指す。	未来
			○パラアスリート育成「トップアスリート・スクーリング」参加者数 (17) →(22) 60人	30人	40人	50人	60人	0人	0%									
			○「ジュニア・アカデミー」参加者数 (17) →(22) 100人	70人	80人	90人	100人	0人	0%									
			○特別支援教育「ユニバーサル運動プログラム」の作成 (19) 作成					-	-									
			○「とくしまパラスポーツ人材バンク」の創設 (20) 創設					創設	100%									
519	4-4-1	196	●障がい者芸術文化活動のさらなる振興を図るため、障がい者の芸術文化活動のための環境づくりや障がい者アーティストの発掘、活動を支援する人材の育成を行うとともに、芸術文化活動やその作品を通じて障がいへの理解を促進し、共生社会の実現への取組みを推進します。 <未来>	推進						A								
			○障がい者芸術の全県展開「共生アートプロジェクト」の創設 (20) 創設					創設済	100%									
			○障がい者アート常設展の開設 (20) 開設					開設	100%									
			○特別支援学校の生徒による表現活動の実践と発表の場の創設 (19) 創設					創設済	-									
520	4-4-1	196	●障がい者の生涯を通じた多様な学習や活動を支援し、特別支援学校等卒業後の学びや交流の機会を創出します。 <教育>	推進														

ターゲット4 「躍動とくしま・感動宝島」の実装

【重点戦略5】

新次元！文化スポーツ施設「グレードアップ戦略」の展開

主要施策：3 新次元文化スポーツ環境の創造			戦略会議評価															
			要改善															
番号	行動計画 該当箇所		工程(年度別事業計画)				実績		主要施策	(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局		
	位置 づけ	該当頁	(現行) 主要事業の概要・数値目標				実績値 (R2)	達成率 (R2)	判定		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)				
528	4-5-3	198	● 少子高齢化や地球温暖化、大規模災害への対応が求められる中、快適で安全なスポーツ環境を確保し、子育て世代、高齢者、障がい者等あらゆる人々が様々なスポーツやイベントを楽しむことができるとともに、発災時には拠点避難所にもなる複合型スポーツ施設の整備により、地方都市としての賑わいを創出し、まちの活性化につなげる、本県ならではの「未来型スポーツ環境創造プロジェクト」を推進します。<未来> ○「未来型スポーツ環境創造プロジェクト」の推進 (22) 基本構想等策定	推進						-							未来	
529	4-5-3	198	● 急速な人口減少・少子高齢化に伴い、施設の利用需要も変化の中で、地域の実情に応じた既存の文化・スポーツ施設の有効活用と更なる機能向上により、地域の文化・スポーツ環境の整備を図ります。<政策・未来・県土>	推進													政策・ 未来・ 県土	
530	4-5-3	198	● 本県の競技力向上につなげるため、国際スポーツ大会を契機として国内に蓄積された最先端の医科学知見に基づくサポートに関するノウハウを積極的に導入し、アスリート・医科学サポート体制の強化を推進します。<未来> ○アスリート・医科学サポートに関する講習会等の開催件数 (17) →(22) 15件	推進						C	本県の競技力向上につなげるため、国際スポーツ大会を契機として国内に蓄積された最先端の医科学知見に基づくサポートに関するノウハウを積極的に導入し、 <u>ニューノーマルに対応した</u> アスリート・医科学サポート体制の強化を推進します。<未来>	推進					アフターコロナを見据え、参加人数を制限するなどニューノーマルに対応した事業の実施に努める。	未来
					12件	13件	14件	15件	4件	30%								

ターゲット5 「循環とくしま・持続社会」の実装

【重点戦略2】
新時代を先導！再生可能エネルギーの社会実装

主要施策：1 「地産地消」推進プロジェクトの推進			戦略会議評価																
			要改善																
番号	行動計画 該当箇所		工程(年度別事業計画)				実績		主要施策 判定	(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直し等の理由及び概要	部局			
	位置 づけ	該当頁	(現行) 主要事業の概要・数値目標	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	実績値 (R2)			達成率 (R2)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)			2022 (R4)		
548	5-2-1	206	●「自然エネルギー立県とくしま推進戦略」に基づき、温室効果ガス排出削減や分散型エネルギーによる災害対策、地域の活性化等を目的として、「自然エネルギー」の導入を促進します。(再掲)〈危機〉 ○自然エネルギーによる電力自給率 (’17) 26.7%→(’22) 30.5%	推進						A							危機		
549	5-2-1	206	●地域防災力の向上を目指し、災害時の切り札となる自然エネルギーを活用した「自立・分散型電源」導入支援制度を創設します。(再掲)〈危機〉 ○「自立・分散型電源」導入支援制度の創設 (’19) 創設 ○「自立・分散型電源」導入支援制度の取組支援数 (累計) (’17) → (’22) 15件	推進						-							危機		
550	5-2-1	206	●地球温暖化対策や平時における電力の地産地消の推進、さらには災害時の非常電源として活用が期待できる水力発電の普及を図るため、溪流に設置可能なピコ水力発電機の実証実験や、産学官の連携等により、先導的モデルとなる小水力発電の導入支援に積極的に取り組みます。これらの取組みや実験データを公表することによって、自然エネルギーの普及促進を図ります。(再掲)〈企業〉 ○自立・分散型エネルギーの普及拡大 (’21)～(’22) 小水力発電の導入支援 ○自然エネルギー地産地消モデルの普及促進 (’19)～(’21) ピコ水力発電機の実証実験(2箇所)・ (’22) 説明会の実施 ○自然エネルギー導入促進のための技術支援 (’19)～(’22) 相談窓口による支援	推進							C						【前回の改善見直しにおいて対応済み】 令和3年度から、「市町村が事業主体となる小水力発電の導入支援」に見直し、事業化に向け、市町村と協働して取り組む。	企業	
551	5-2-1	206	●本県の特性を活かし、未利用木質資源などバイオマスの生産・利用を担う環境関連産業の創出や、関連技術を活用した地域づくりに取り組みます。〈農林〉 ○バイオマス利活用モデル地区数(累計) (’17) 37地区→(’22) 41地区	推進							A							農林	
552	5-2-1	206	●農村地域において、自然エネルギーを有効活用するため、農業水利施設を活用し、「クリーンエネルギーの地産地消」を促進することにより、地域の活性化を図ります。〈農林〉 ○小水力発電施設整備モデル地区数(累計) (’17) →(’22) 4地区	推進							C	●農村地域において、自然エネルギーを有効活用するため、施設管理者への更なる普及啓発や導入に係る情報提供を行い、農業水利施設を活用し、「クリーンエネルギーの地産地消」を促進することにより、地域の活性化を図ります。〈農林〉	推進					発電施設導入にあたっては、施設管理者の意識醸成と導入に向けた気運を高めることが重要であることから、更なる普及啓発を進めるとともに、導入に係る情報提供を行う。	農林

番号	行動計画 該当箇所		(現行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				実績		主要施策 判定	(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直し等の理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	実績値 (R2)	達成率 (R2)			2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
553	5-2-1	207	<ul style="list-style-type: none"> 産学官金による自然エネルギーの推進体制として、「自然エネルギー活用プロジェクトチーム」を創設し、「自然エネルギー立県とくしま推進戦略」の実現に向けた取組みを推進します。<危機> ○「自然エネルギー活用プロジェクトチーム」の創設(19)創設 ○「自然エネルギー活用プロジェクトチーム」による「自然エネルギー立県とくしま推進戦略」の実現に向けた検討項目数(累計)(17)→(22)6項目 	推進						-					危機		
554	5-2-1	207	<ul style="list-style-type: none"> 自然エネルギーを活用した「SDGsイベント」を民間と協力して開催し、持続可能な社会の実現に向けた取組みを推進します。<危機> ○「SDGsイベント」の開催(19)開催 	推進						-					危機		
555	5-2-1	207	<ul style="list-style-type: none"> 「自然エネルギー立県とくしま推進戦略」に基づき、自然エネルギーによる地域の活性化や地元雇用の創出を目的として、自然エネルギー導入を進める地域人材の育成を図ります。<危機> ○地域人材を育成する講座の受講者数(17)→(19)~(22)年間20人 	推進						A					危機		
					20人	20人	20人	20人	39人	100%							
556	5-2-1	207	<ul style="list-style-type: none"> 先進的な自然エネルギー導入の意見交換を行うとともに、本県から環境の取組みを国際社会に発信するため、環境先進国ドイツ・ニーダザクセン州と自然エネルギー分野における国際交流を推進します。<危機> 	推進											危機		

ターゲット5 「循環とくしま・持続社会」の実装

【重点戦略2】

新時代を先導！再生可能エネルギーの社会実装

主要施策：2 水素エネルギーの社会実装			戦略会議評価													
			要改善		工程（年度別事業計画）				実績		主要施策	工程（年度別事業計画）				改善見直し等の理由及び概要
番号	行動計画 該当箇所		(現行) 主要事業の概要・数値目標	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	実績値 (R2)	達成率 (R2)	判定	(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標					
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2019 (R1)	2020 (R2)		2021 (R3)	2022 (R4)				
557	5-2-2	207	<p>●水素社会の早期実現を目指し、「徳島県水素グリッド構想」の具現化を図るため、「燃料電池自動車（FCV）」や「燃料電池バス」をはじめ多様な水素モビリティの導入を促進するなど、地球温暖化対策の切り札となる「水素エネルギー」の普及拡大を推進します。（一部再掲）＜危機＞</p> <p>○「燃料電池バス」の本県導入（'20）導入</p> <p>○「燃料電池船」の試験導入（'21）試験導入</p>	推進						C					燃料電池バスの燃料供給拠点である水素ステーションが、新型コロナウイルスによる主要機器サプライチェーンの乱れにより、完成が令和3年度にずれ込んだため。	危機
558	5-2-2	207	<p>●県内工場で生成される水素を有効活用した地産地消エネルギーによる広域的なサプライチェーン構築を図るため、戦略的な取組みを展開します。＜危機＞</p> <p>○新たな水素供給拠点の整備（'20）整備</p>	推進						C					新型コロナウイルスによる主要機器サプライチェーンの乱れにより、完成が令和3年度にずれ込んだため。	危機
559	5-2-2	207	<p>●水素社会の実現に向けて、水素に対する県民の理解を深めるため、あらゆる場面を活用した積極的な普及啓発を行います。＜危機＞</p> <p>○「水素社会啓発・体験ゾーン」等での環境学習参加者数（'17）335人→（'22）700人</p>	推進						A						危機
				400人	500人	600人	700人	529人	100%							
560	5-2-2	208	<p>●水素エネルギーの普及拡大を図り、新たな水素関連産業のビジネスモデル構築を促進するため、産学官の連携による「とくしま水素ビジネス研究会」の開催をはじめ、民間事業者の取組みを積極的に支援します。＜危機＞</p>	推進												危機
561	5-2-2	208	<p>●次世代エコカー（EV、FCV、PHV等）の優れた蓄電・発電機能が災害時の非常用電源として有効活用できることについて、広く県民の理解を深め、普及拡大に繋げるため、積極的な取組みの推進を図ります。（再掲）＜危機＞</p> <p>○イベントにおけるエコカーを活用した給電に関する啓発活動の実施数（累計）（'17）4件→（'22）30件</p>	推進						A					令和3年度の実績見込みが目標値を大きく上回ると推計されるため、成果・効果の更なる向上を目指し、エコカーを活用した給電に関する啓発活動実施数の目標数値について上方修正する。	危機
				15件	20件	25件	30件	30件	100%					15件		

ターゲット5 「循環とくしま・持続社会」の実装

【重点戦略5】

近未来とくしま！「東京オリパラ」から「大阪・関西万博」へ

主要施策：1 夢と希望の新交通ネットワークの構築			戦略会議評価													
			要改善													
番号	行動計画 該当箇所		工程(年度別事業計画)				実績		主要施策 判定	(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直し等の理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	実績値 (R2)	達成率 (R2)			2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
634	5-5-1	221	● 阿佐東地域における住民の移動手段確保や観光交流の促進を図るため、阿佐東線において、DMVの導入を推進します。(再掲) <県土> ○阿佐東線へのDMV導入 (20) 導入	推進						C					新型コロナウイルスの影響により、国や関係企業との協議が実施できない時期があったことに加え、世界初の本格営業運行となることから、念入りな対応が求められ、運行開始時期を見直している。WEB会議を重ねるなどし、営業運行開始日が「2021年12月25日」に決定した。	県土
635	5-5-1	221	● 交流人口の拡大に向け、2025年大阪・関西万博を展望し、「徳島阿波おどり空港」をはじめ、大阪湾ベイエリア5空港7滑走路の有機的連携によるストック効果を発揮させるため、会場となる「夢洲」や「関西国際空港」と本県をつなぐ、新たな「海上交通」の導入に向けて取り組みます。<県土> ○新たな「海上交通」の導入に向けた取組み (19) 導入研究(20)~(21) 実証運航	推進						A						県土
636	5-5-1	221	● 2025年大阪・関西万博開催を視野に、国内外との交流拡大による本県経済の活性化を図るため、エアポートセールスを推進し、国内外との航空ネットワークの維持・充実を図ります。(再掲) <県土> ○国内線 (17) 東京線1日11往復、福岡線1日2往復 →(22) 維持・充実 ○国際線の誘致 (17) チャーター便就航→(19)~(22) 推進 (※(18) 季節定期便就航)	推進						-						県土
637	5-5-1	221	● 「大阪湾ベイエリア5空港・7滑走路」の有機的連携によるストック効果を発揮させ、急増するインバウンドの受け入れ態勢強化や日本全体の「リダンダンシー」の確保・「二眼レフ構造」の国土*構築など、地方創生に向け、機運醸成の取り組みを通して、四国新幹線の実現を目指します。<県土>	推進												県土